

## 安全確認チェックリスト【剣道】

競技会名	
期　　日	
会　　場	
記載者名	

区分	確認項目	✓
施設 設備 用具	床面で滑りやすい箇所や亀裂、隆起、段差等の不具合がないか。	
	試合場のラインテープ等が浮きや剥がれなく適切に貼られているか。	
	支柱用の床金具が完全に塞がれているか。	
	競技に支障のない照明の明るさと均一性が保たれているか。	
	通路や避難経路の確保、周知が行われているか。	
	怪我発生時に CPR・RICE 処置等を行える人材配置がされているか。	
	AED 設置場所の周知、即時に使用可能な状態であるか。	
	試合場と周辺の器具等の距離が十分であるか。	
活動 内容	延長戦が長引いた場合に、適切な水分補給、休息がとられるルールであるか。	
	施設の広さに応じた適切な人数で、練習や試合が行われているか。	
	危険な技や禁止行為（不当な押し出し・突き出し・防具の無い部位への故意な打突等）を正しく理解、厳守させているか。	
	剣道着、袴、防具を正しく着装し、打突部位を保護できているか。	
	竹刀は十分に手入れされ、割れや欠けがないか。また、竹刀の検量がある場合には、その基準を満たしているか。	
	別紙「剣道用具確認事項」に沿って剣道具の整備が行われているか。	
環境 条件	会場の湿度及び温度が適切であるか。	
	熱中症等や怪我の発生時にすぐに使用できる水、生理食塩水、氷等が準備されているか。	
	気象情報を隨時入手できる環境であるか。	
その他	主催者や指導者がアラート発令時の対応を確認し、参加者等に周知しているか。	
	顧問不在時など想定される様々な場面での避難方法を、生徒等に指導しているか。	
	情報の収集や保護者への連絡方法を確認し、名簿等を準備しているか。	

反省・報告（事故、ヒヤリハットなどを含む）

大会終了時に事務局に提出